



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ イングリッシュスピーチ・コンテスト、最優秀賞！

11日（土）に、諫早文化会館でイングリッシュスピーチ・コンテストが開催されました。市内の小学生が16名、中学生が12名出場し、スピーチに加えてプレゼンテーションシフトなどを用いて、英語での発表を行いました。

中学生は、『ふるさと』をテーマに、自分自身が考えていることを英語で表現し、発表しました。本校からは、3年生の松竹さんが出場し、見事に最優秀賞を獲得しました。松竹さんは、中学生の部の最初の発表者でしたが、緊張を跳ね除けて堂々とした意見発表を行い、スピーチコンテストのよい雰囲気を作ってくれました。また、発表の内容、英語の発音、表現力ともにたいへん素晴らしく、会場にいた多くの方からも驚嘆の声が聞かれました。生徒集会でのリハーサルの効果もあったと思います。

松竹さんは、12月に長崎市で行われる県大会に、諫早市の代表として出場します。今後の約2か月で、さらに発表内容や表現力を磨き上げ、納得のいくスピーチをしてほしいと願っています。

また、先週、修学旅行に行き、今の日本では、海外の方と接することが飛躍的に増え、確かな英語力を身に付けていることは、たいへん重要だということを、強く感じました。今回の松竹さんの受賞を機に、真城中学校全体の英語への関心を高めていければと思います。



○ 修学旅行（1日目）のようすです

2年生の、3日間の修学旅行の様子をお伝えします。



1日目の見学地は、大阪・関西万博でした。報道で来場者が非常に多いことは理解していましたが、予想以上の人でした。真城中学校は、団体の見学枠を確保していただいていたので、時間通りに見学することができました。目玉の大屋根リングも、写真のように、内部から見る構造の複雑さと、リングの上からの風景には圧倒されました。世界最大の木造建築を堪能することができました。

○ 修学旅行（2日目）のようすです



2日目の活動は、京都自主研修でした。午前8時からの活動だったので、前日とは真逆で、人も少なくゆっくりと見学することができました。多くの生徒が、午前中に順調に見学地を回ることができていました。

集合場所の東本願寺には、大きな紙袋を手に持った生徒たちが時間通りに集まり、お土産もたくさん買うことができていました。京都をあとにし、大阪南港へ九州に向かうフェリーに乗るためにバスで向かいました。

○ 修学旅行（3日目）のようすです



3 日目は、下関の海響館（水族館）と大宰府天満宮を見学しました。海響館は、この夏にリニューアルしたばかりで、見所が多かったです。この海響館に来る前に、関門トンネルと歩いて移動したのですが、透明のチューブになっていて海が見えると予想していた人が多く、少しがっかりしたところに、水族館内では、まさに理想とする海底トンネルを再現した場所もあり、今回のコースを考えた人の演出が「粋だな」と感じました。

その後は、福岡市内のホテルでのバイキングランチ後、太宰府で参拝をして岐路につきました。大宰府は、予想以上に空いており、スムーズに参拝・見学・買い物をすることができました。最終週の大混雑の大阪・関西万博の後なので、感覚がマヒしているのかもしれませんが。

2 泊 3 日の修学旅行では、最後まで 2 年生が元気に生き生きと活動する姿が印象的でした。班長を中心としながら、班員のこと、2 年生全体のこと、自分の周りの多くの人々のことを思いやり、自分の行動を選択しようとする力を高めることができました。この 3 日間で学んだことを、今後の生活・人生に生かしてほしいと願っています。多くの人々の支えがあったことに、思いを馳せてほしいと思います。また、そのことに気付ける人であってほしいと願っています。



最後に、上の写真は、今回の修学旅行で撮影した写真の中で一番気に入っているものの一つです。これが、自然の進化の中で誕生したと思うと、生き物って不思議だと感じずにはいられませんでした。

☆ 上の写真は、シロナガスクジラの骨格標本です。
頭部がまるで宇宙船（人工物）のように見えました。